

大使館からのお知らせ

治安

2011. 12. 28



【在留邦人の皆様】

本年度もいろいろとお世話になりました。来年度も引き続き宜しくお願い申し上げます。
年末年始にむけ旅行者を狙った犯罪等も増えてきますので皆様も十分に安全に留意いただき、楽しい年末年始をお過ごし下さい。

皆様が良い年を迎えられますように・・・

よくある犯罪被害ケース

- ・歩行中の強盗被害(貴重品・音楽プレイヤー・OAバッグ等)
- ・空き巣による被害(現金・OA機器等)
- ・レストランやショッピングモールでの置き引き・スリ(イスの背もたれ・人混みの中)
- ・バス内の網棚の荷物置き引き(目を離す・網棚を勧められる・睡眠中など)
- ・バスターミナルでの荷物置き引き(バスを待っている際、足下を荷物を置いている際に)
- ・駐車中の車上荒らし(車の外から、見える場所に荷物を置きっぱなしによる)
- ・旅行先でのホテル宿泊室での盗難(室内の未施錠カバンの中の貴重品)

すぐに出来る安全対策

- ・高価な物を持たない(見せない) PC・時計・携帯型音楽プレイヤー等
- ・常に周りを警戒(目つきや挙動により警戒しスキを見せない)
- ・家屋の照明は常に点灯させておく、新聞配達を依頼している場合には誰かに頼んで毎日引き取ってもらうことなども重要(空き巣対策)
- ・強盗へのお金の準備(強盗に遭ってしまった際の命金として)
- ・TPOに合わせた服装
- ・出来る限り1人では行動しない(特に女性の1人行動は強盗被害の可能性が高い)

「麻薬関係と報復による殺人が30%を占める」

コスタリカにおいて麻薬を巡る殺人、麻薬がらみの報復による殺人が、2010年に発生した殺人の30%を占めている。2010年の殺人件数527件のうち、157件が麻薬がらみの報復で、その他、強盗・盗難(115件)、口論・喧嘩(91件)、個人的問題(43件)、家庭内暴力(25件)、その他などである。また殺人事件の3分の2が銃を使用したものである。司法警察の数字によると、殺人の10%が5地域に集中しており、サンホセ県ゴイコイチェア市ロス・クアドロ(11件)、同県ティバス市レオントレセ(11件)、同県サンホセ市ラカルピオ(9件)、同県同市シウダデラ15デセプティエンブレ(9件)、エレディア県エレディア市グアラリ(9件)となっている。また殺人件数の44%が、サンホセ市、アラフエラ市、リモン市、ゴイコイチェア市、ティバス市に集中している。

「モールサンペドロで強盗被害発生」

7日午前10時30分、モンテステオカ市のショッピングセンター(モールサンペドロ)1階にある宝石店にて開店準備中のところを、拳銃を持った男4人が警備員を脅して押し入り、店内には店員5名と警備員1名がいたが、店員の1名が犯人に気づかれぬよう宝石を持って店内に隠れて盗難を防いだ。なお今回強盗にあった宝石店と同フロアにある他の宝石店でも今年2月に強盗事案が発生している。

「司法警察エスカスの家宅捜査で手榴弾44個発見」

13日司法警察は、あるコスタリカ人家族に現金200万ドル払わなければ、家族の者を誘拐すると脅迫し家族の一員を数時間誘拐したとして逮捕された外国人2人の住むエスカス市の民家を家宅捜査したところ、手榴弾44個、軍装備、山に籠もるための装備などが発見された。

「誘拐に加わった警察官2名逮捕される」

13日夜、サンホセの公安警察オペレーション支援部隊である警察官2人が、誘拐の共犯容疑で逮捕された。同2人は11月末制服を着て各自オートバイに乗り、捜査を装ってサンホセで車を運転中の女性を一時拘束し、誘拐主犯となる外国人2人が車で駆けつけるまでの数分間監禁した後引き渡したと見られている。

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆

TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140

E-mail: embjapon@racsa.co.cr(大使館)または kazumasa.masuda@mofa.go.jp(増田)まで